

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。

今議会、大きな案件はありませんでしたが、行政報告には、この先の瀬戸内市を左右することになるであろうことが、書かれていました。



令和5年5月に2億2千万円(250㎡)をかけ完成した、長船支所

行政
報告

～郵便局への業務委託について～

本年6月の郵政民営化法及び関連法の改正により、地方自治体から受託する行政サービスが日本郵便株式会社の本来業務に追加されるとともに、全国的な郵便局網の維持に国から交付金が交付され、行政サービスの委託化が加速的に進んでいます。民営化後も郵便局は1店舗として廃止されておらず、これからの地域における行政サービスの担い手として期待されているところです。これを受け、本市においても市内3か所しかない支所出張所の業務を10か所ある郵便局に委託し、拡大することで、市民の利便性の向上を図ると同時に、支所及び出張所を廃止することで行政コストを削減する方向で、庁内検討を始めました。

くさかとしこの主張：=====

支所機能を郵便局に委託と言われていますが、先ず支所機能とはなんぞや!をしっかり調べようと思います。そして、次の3点からしっかりこのことが市民生活にどう影響を及ぼすのかをしっかりと考えようと思います。

ぜひ、みなさまのお声をお聞かせください。

①合併の時の約束

長船町・呂久町・牛窓町の対等合併で出来た瀬戸内市です。その時に支所を残す約束があったはずですが、すでに保健福祉部を残す約束はないがしろになってしまいました。

②駆け込み寺としての支所

支所には、社会福祉協議会の職員さんがいてくれて、様々な相談に乗ってくれています。

③防災拠点としての支所

支所は、何かあれば職員が参集する場になっています。防災備品も備蓄されています。

行政
報告

～市民病院の経営状況について～

このまま、年間約2億円規模の現金減少が継続した場合、市民病院が保有するキャッシュは、早ければ2～3年で枯渇する見込みで、市の財政や地域医療のあり方に大きな影響を及ぼす恐れがあり、早急に「市民病院の今後のあり方」について検討することが必要と考えています。

この中で、市民病院の構造改革をはじめ、地方独立行政法人化、指定管理者制度の導入、民間譲渡など想定される全ての選択肢を除外せず検討し、本市における地域医療を堅持する方法を模索していきたいと考えています。

くさかとしこの主張：=====

市民病院の構造改革をはじめ、地方独立行政法人化、指定管理者制度の導入、民間譲渡と言われています。それぞれのメリット・デメリットをしっかりと勉強したいと思います。

ただ1つ言えることは、どんな形であろうと市民病院は必ず必要だ!ということです。

ありがたいことに岡山市には大きな病院がいくつもあります。当然大きな手術は岡山市の病院で受けますが、術後すぐ転院を求められます。自宅の近くで療養とリハビリが出来る病院が必要です。

これについても、ぜひ、みなさまのお声をお聞かせください。



行政 NEWS

とっしん



vol
54

秋の台風シーズンとなりました。今年は三陸沖地震に始まり岩手・山梨・熊本の地震災害・千葉の豪雨災害でつらい思いをされている方々を、心から応援しています。今年は8月の台風発生数が10個でかつ、これまでの台風発生数も24個とハイペースです。

幸いにも瀬戸内市には今のところ大きな被害はありません。しかし、決して他人ごとではありません。昭和20年、昭和51年、平成2年と、3度も床上浸水を経験している我が地域にとっては、身につまされます。

こういった経験をするたびに、防災の必要性を痛感します。今後とも、災害情報の伝達の問題・避難所の問題・避難方法の問題に、しっかり取り組んでいきます。また、油杉川の排水の問題・干田川の排水の問題にも、しっかり取り組みたいと思います。排水は、農地を守るだけでなく家を守る、人の命を守るのですから、その必要性をしっかり声を上げていきます。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

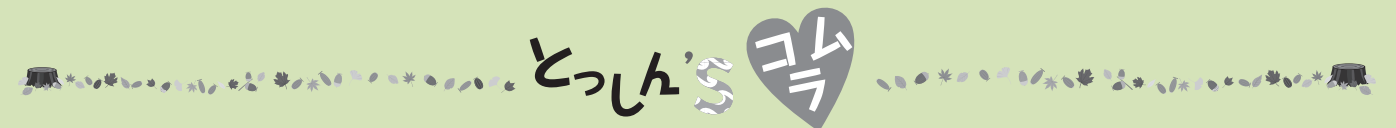
私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。

その思いは、今もこれからも変わることはありません。

引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



黄金に輝く田んぼ
(我が家のニコマル)



8月22日、【磯上ふれあい夏祭り】を盛大に開催することが出来ました。過去1番の人出で地域みんなは大変でしたが、とっても楽しいお祭りになりました。

花火も、今年はいつもより多く上がったので、素晴らしかったとお褒めのメールをたくさんいただきました。

またお祭りの前に、みんなで色とりどりのゴミ袋をかぶって写した【イソノカミ】の文字も見事に広場に浮き上がりました。この文字は11月1日号の議会だよりの表紙になる予定ですので、楽しみにして頂きたいと思います。

令和8年10月19日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさかとしこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上 569

TEL/FAX0869-26-6420

携帯 TEL090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



一般質問

今回の私の一般質問は

1.水道について

2.ゆめトピア長船について

3.新しい自治組織制度について

を取り上げました。

1.水道について

瀬戸内市の水源は3つあります。1つは福山浄水場、2つ目は長船水源地、残りは、岡山県広域水道企業団事業の受水で、県下16市町村が受水しています。

瀬戸内市の1日当たりの基本水量は5,200立方メートルとされています。そして、最低数量、必ず受水しなければいけない量としての設定が4割とされているので、 $5,200 \times 0.4$ で2,080立方メートルが割り当てられています。岡山県広域水道企業団の水道基本料金は、基本料金が1立方メートル当たり34円、使用料金が1立方メートル当たり47円です。

岡山県広域水道企業団は5年ごとに料金設定の見直しを行っており、今年、令和8年度が見直しの年に当たります。

くさかしこの主張：

令和7年度の決算データで、広域水道企業団に受水費として1年間に約1億1,000万円を支払っています。1日当たり2,080立方メートルとすると、1立方メートル当たりは約144円の高級水です。一方、自己水源による配水量は1日当たり9,600立方メートルで、自己水源の浄水に係る費用は原水及び浄水費から広域への受水費を差し引くとざっと1億1,000万円、1立方メートル当たりにすると約33円になります。どう考えても、1立方メートル当たり144円もする広域の水より、水の豊富な地理にある瀬戸内市の、1立方当たり約33円の自己水源のを多く利用したほうが得であることは明らかです。

ましてや、広域の水が値上がりするのであれば、なおさらの話ではないでしょうか。もし、広域の水が値上がりするようなことがあれば、広域の水を減らして安い自己水源を増やすしか値上がり分を吸収する方法はないのではないのでしょうか。

瀬戸内市に1日5,200立方メートルと定められている基本水量ですが、この根拠はどこにあるのでしょうか。残念なことに、毎年、明らかに人口は減っているわけで、基本水量が変わらないのは納得がいかないところです。ここは、今までのしがらみのない黒石市長だからこそ、できるところではないのでしょうか。広域水道としっかり交渉していただきたいと思います。また併せて他の構成団体への働き掛けも大切になるのではないのでしょうか。

瀬戸内市の水源と水量			
	福山浄水場	長船水源地	岡山県広域水道事業団からの受水
施設能力(1日当たり)	1万トン	5,000トン	5,200トン
1日平均給水量	6,300トン	3,300トン	2,080トン
余力水量	3,700トン	1,700トン	3,120トン
年間費用	原水及び浄水費 約1億2,000万円※		約1億1,000万円
1立法メートル当たり費用	約34円		約144円

※減価償却費等々は入っていない



これは、岡山県広域水道事業団です。吉井川の向こう岸にあります。5月12日に会派で視察してきました。



福山浄水場
こちら、5月12日に会派で視察してきました。

2.ゆめトピア長船について

平成30年3月に計画が出され、耐震のない長船町公民館、支所、長船消防署について、消防署は新設、公民館と支所は保健福祉部仮庁舎を新築する計画から始まったのが庁舎再編です。長船住民は、ゆめトピア長船に仮庁舎が新築されるということで、泣く泣く公民館がなくなることを諦めた経緯があります。

それが2年もたたないうちに、今後、変わる予定はないはずだった計画が、保健福祉部仮庁舎を再検討して邑久の本庁舎へ統合する案が提出されました。その後、庁舎再編はどんどん進み、消防の長船分駐所は新築移転し、長船支所も新築移転し、本庁舎西棟改修も完了し、こども・健康部も移転しました。ゆめトピア長船を改修して長船町公民館が移転し、長船町ににぎわいが創出されるとしたこどもパークの計画は、ゆめトピア長船からはなくなりました。

くさかしこの主張：

問題点①

ゆめトピア長船について、公民館利用を優先して欲しいと私は思っていますが、それにしても文化センター利用が少なすぎる気がします。長船に賑わいが創出されるとされた商業利用もできる文化センターです。もっと利用されるよう地域おこし協力隊の力を借りてはどうかと提案しました。

問題点②

正面玄関の奥にあるこどもの国について、屋内だけでなく隣接している屋外（3本の立ち木が生えている）を芝生広場にして一体的な遊び場にできないか提案しました。

問題点③

瀬戸内市で1番に開設する避難所でもあるゆめトピア長船のトイレについて、洋式トイレの整備を急ぐべきでだと提案しました。

問題点④

敷地正面入り口について、
①バスが擦れ違えない狭さではないか
②歩道に赤いコーンがいつまでも設置されており、今も工事中に見えるが、撤去すべきと指摘しました。 ➡ 三角コーンを撤去し、別の安全対策を講じる

問題点⑤

今年40周年を迎える菊花展だが、市の花である菊を市内外にもっと大々的に宣伝するチャンスではと提案しました。 ➡ 11月8日 40周年オープニングセレモニー開催

3.新しい自治組織について

新しい地域自治組織の導入が平成26年から検討されているが、一向に進んでいない。地域と市役所の関係は希薄になるばかりだ。

くさかしこの主張：

この地域自治組織制度ですが、この目的はあくまでまちづくりであって欲しいと思っています。今後の自治組織の維持のために私は、以前地域一括交付金制度を計画した時に市から提案があった【地域担当職員】、これが救世主になるのではないかと考えます。

地域には、それぞれの地域ごとの特性やならわしがいろいろあります。町内会の境界線すら把握できていないのが現在の市役所ではないのでしょうか。

地域ごとに【地域担当職員】がいて的確な指示が出せるようになったら、こんなトラブルはなくなるのではないのでしょうか。

地域と行政を結ぶ手立てとして、もう1つ提案があります。それは、町内会長や土木委員といった自治組織の役員のように、行政相談員のような役を設けるのはどうでしょうか。これは、だれにでもできる役ではないかもしれませんが、元職員や元議員といった人々に汗をかいてもらって、地域の活性化を図ることはできないのでしょうか。